

一次の文で、主語 何が、何は、だれが、だれは に

述語 どうする、何だ、どんなだ に

例、きのう、わたしは えいがを 見た。

線をつけましょう。 線をつけ

(1) 弟が、友だちと いっしょに 走った。

(2) わたしは、新しい ふでばこを 買った。

(3) 赤い 車が、家の 前に とまった。

(4) メロンは、あまくて おいしい。

二次の文で、修飾語 しゆじゆご くわしくする言葉 くわしくする言葉 にあてはまる言葉をえらびましょう。

例、きりんが、えさを 食べる。

えさを

(1) おばあさんが、夕ごはんを 作った。

(2) わたしは、手紙を 書いた。

(3) はりの あなは、小さい。

(4) ゾウは、大きな 動物だ。

三次の文の  に、修飾語をつけくわえて、くわしくしましょう。

例、星が、空で

光る。

星が、空で  光る。

(1) わたしは、友だちと

会います。

(2) 雨が

ふっています。

「主語」と「述語」  
でないものを  
「修飾語」とい  
よ。

